

平成26年度
九州地域における
中山間地域等直接支払制度の実施状況

平成27年7月
九州農政局整備部地域整備課

平成26年度の取組実績

1 交付市町村数

九州地域における、集落協定及び個別協定を締結する上で指針となる中山間地域等直接支払市町村基本方針（以下「基本方針」という。）を策定した市町村は164市町村（全国1,011市町村）となっている。

そのうち、協定を締結した集落等に対し、交付金を交付した市町村（以下「交付市町村」という。）は163市町村で、対象農用地基準を満たす農用地を有する市町村（以下「対象市町村」という。）178市町村（全国1,116市町村）の92%（同89%）となっている。

交付市町村数

	平成26年度		(参考) 平成25年度
	平成26年度	前年度増減(率)	
全市町村数	233	0 (0%)	233
対象市町村数 ①	178	0 (0%)	178
基本方針策定市町村数	164	0 (0%)	164
交付市町村数 ②	163	0 (0%)	163
交付市町村率②/①	92%		92%

2 協定数

平成26年度までに締結された協定数は6,028協定（全国28,078協定、シェア21%）であり、内訳は集落協定が5,946協定（全国27,570協定）、個別協定が82協定（全国508協定）となっている。

協定数

	平成26年度			(参考) 平成25年度		
	協定数	体制整備単価	基礎単価	協定数	体制整備単価	基礎単価
集落協定 (率)	5,946 (100%)	4,564 (77%)	1,382 (23%)	5,915 (100%)	4,529 (77%)	1,386 (23%)
個別協定 (率)	82 (100%)	63 (77%)	19 (23%)	81 (100%)	60 (74%)	21 (26%)
合計 (率)	6,028 (100%)	4,627 (77%)	1,401 (23%)	5,996 (100%)	4,589 (77%)	1,407 (23%)

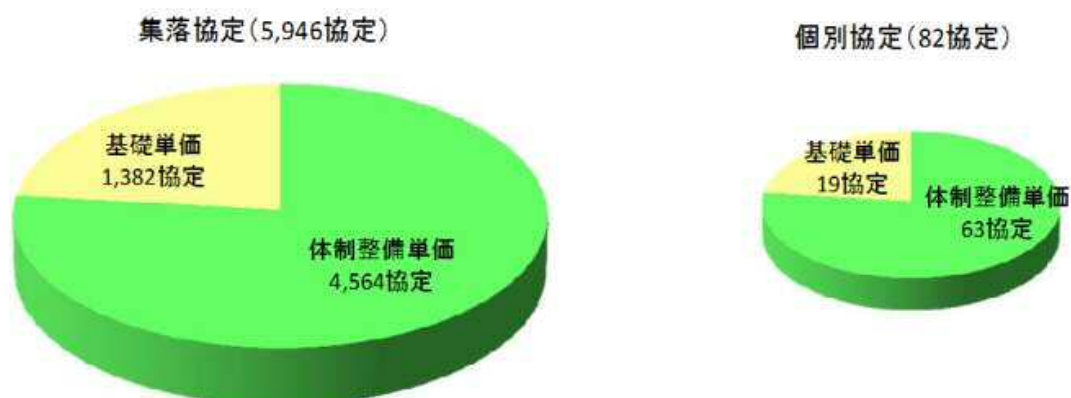
※ 集落協定とは、対象農用地において農業生産活動等を行う複数の農業者等が締結する協定。

個別協定とは、認定農業者等が農用地の所有権等を有する者との間における利用権の設定等や農作業受委託契約に基づき締結する協定。

※ 基礎単価とは、適正な農業生産活動等に取り組む場合の単価。

体制整備単価とは、適正な農業生産活動等に加え、機械・農作業の共同化等の体制整備に取り組む場合の単価。

(図) 単価別の協定数



3 交付面積

平成26年度に交付金が交付された面積（以下「交付面積」という。）は、昨年度から519ha増加し、87,713ha（全国687,220ha）となっている。

また、交付面積のうち、基礎単価による交付面積は12,815ha、体制整備単価による交付面積は74,898haとなっている。

交付面積 (単位：ha)

	平成26年度	前年度増減 (率)	(参考) 平成25年度
対象農用地面積①	112,246	276 (0.2%)	111,970
交付面積 ②	87,713	519 (0.6%)	87,194
基礎単価	12,815	-18 (0.1%)	12,833
体制整備単価	74,898	537 (0.7%)	74,361
交付面積率 ②/①	78.1%		77.9%

※ ラウンドの関係で計が合わない場合がある。(以下同様。)

※ 対象農用地面積は、中山間地域等直接支払交付金実施要領第4の2の(1)から(5)の基準に該当する農用地のうち、市町村が対象農用地として基本方針に記載している農用地面積。

(1) 加算措置への取組

担い手への農地集積、法人の設立等、より積極的な取組を行うことにより、一定額が加算された面積（加算措置取組面積）は、規模拡大加算4ha、土地利用調整加算192ha、小規模・高齢化集落支援加算213ha、法人設立加算177ha、集落連携促進加算376haとなっている。

加算措置取組面積 (単位：ha、件)

	規模拡大 加算	土地利用 調整加算	小規模・高齢化 集落支援加算	法人設立加算		集落連携 促進加算	計
				特定農業法人	農業生産法人		
取組面積 (協定数)	4 (6)	192 (11)	213 (27)	88 (4)	89 (4)	376 (6)	616 (58)

(2) 地目別の交付面積

九州における地目別の交付面積割合は、田66%、畑17%、草地3%、採草放牧地15%。

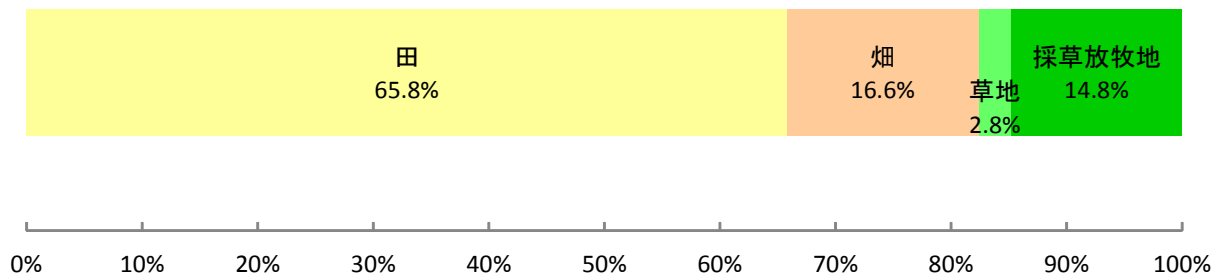
交付面積率（対象農用地面積に対する交付面積の割合）は78%であり、これを地目別にみると、田84%、畑56%、草地79%、採草放牧地87%となっており、採草放牧地の締結率が高い状況となっている。

地目別の交付面積率（対象農用地面積に対する交付面積の割合）

（単位：ha）

	田	畑	草地	採草放牧地	計
対象農用地面積① （割合）	68,400 (60.9%)	25,831 (23.0%)	3,161 (2.8%)	14,855 (13.2%)	112,246 (100%)
交付面積② （割合）	57,724 (65.8%)	14,557 (16.6%)	2,481 (2.8%)	12,951 (14.8%)	87,713 (100%)
交付面積率 ②/①	84.4%	56.4%	78.5%	87.2%	78.1%

(図) 地目別の交付面積割合



4 交付総額

交付金の交付総額は、約102.8億円（対前年比0.6%増、全国約541.8億円）となっている。

交付総額（単位：千円）

	平成26年度	前年度増減 (率)	(参考) 平成25年度
	交付総額	10,278,410	57,961 (0.6%)
基礎単価	1,281,974	-1,349 (0.1%)	1,283,323
体制整備単価	8,996,436	59,311 (0.7%)	8,937,125

5 集落協定の活動内容

(1) 取り組むべき事項

① 集落マスタープラン

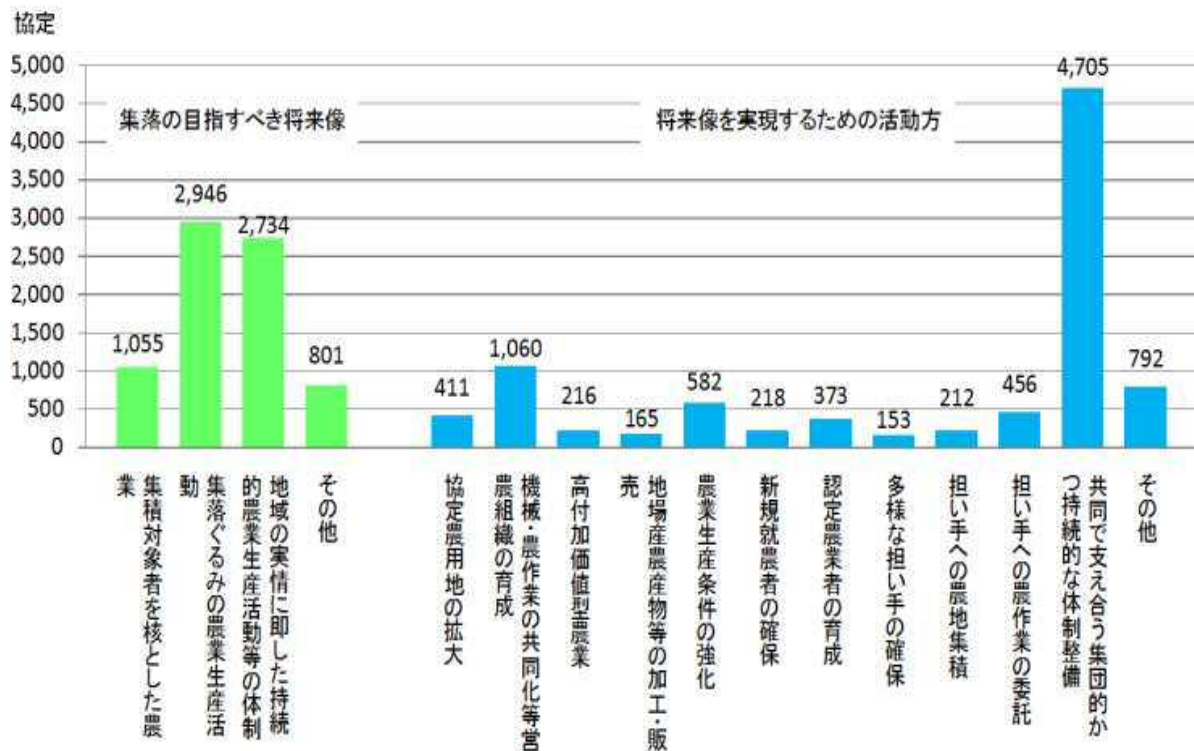
集落マスタープランの内容をみると、集落の目指すべき将来像として、「集落ぐるみの農業生産活動等の体制整備」を選択した協定が2,946協定と最も多く、将来像を実現するための活動方策では、「共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備」が4,705協定と8割近くを占めている。

集落マスタープランの内容

集落協定数	集落の目指すべき将来像（複数可）			
	集積対象者を核とした農業生産活動等の体制整備	集落ぐるみの農業生産活動等の体制整備	地域の実情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備	その他
5,946	1,055	2,946	2,734	801

将来像を実現するための活動方策（複数可）											
協定農用地の拡大	機械・農作業の共同化等営農組織の育成	高付加価値型農業	地場産農産物等の加工・販売	農業生産条件の強化	新規就農者の確保	認定農業者の育成	多様な担い手の確保	担い手への農地集積	担い手への農作業の委託	共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備	その他
411	1,060	216	165	582	218	373	153	212	456	4,705	792

(図) 集落マスタープランの内容



② 農業生産活動等

ア 耕作放棄の防止等の活動（必須）

耕作放棄の防止等の活動内容においては、「農地の法面管理」が4,202協定と最も多く、次いで「柵、ネット等の設置（2,499協定）」、「賃借権設定・農作業の委託（2,008協定）」となっている。また、水路・農道の管理については、ほとんどの集落協定で実施されている。

農業生産活動等(それぞれの活動で1つ以上を選択)

集落協定数	耕作放棄の防止等の活動							
	賃借権の設定・農作業の委託	既耕作放棄地の復旧	既耕作放棄地の林地化	既耕作放棄地の保全管理	農地の法面管理	柵、ネット等の設置	限界的農地の林地化	簡易な基盤整備
5,946	2,008	45	6	413	4,202	2,499	21	826

				水路・農道等の管理		
土地改良事業	自然災害を受けている農用地の復旧	地目変換	その他	水路の管理	農道の管理	その他の施設の管理
59	129	32	191	5,485	5,854	268

※ 耕作放棄の防止等の活動の「その他」には、農用地の定期的点検、家畜放牧による耕作放棄地管理等がある。

(図) 農業生産活動等



イ 多面的機能を増進する活動（必須）

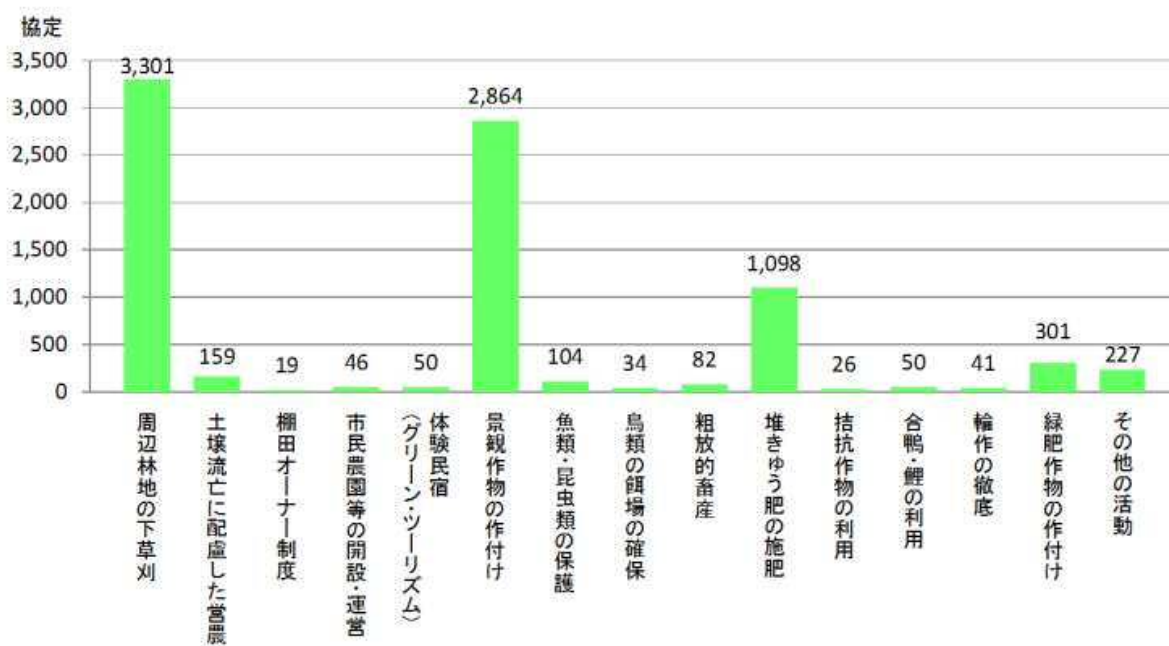
多面的機能を増進する活動においては、「周辺林地の下草刈」が3,301協定と最も多く、次いで「景観作物の作付け（2,864協定）」、「堆きゅう肥の施肥（1,098協定）」となっている。

多面的機能を増進する活動（1つ以上を選択）

集落 協定数	国土保全機能を高める取組		保健休養機能を高める取組				自然生態系の保全に資する取組							その 他の 活動	
	周辺林 地の下 草刈	土壌流 亡に配 慮した 営農	棚田オ ーナー 制度	市民農 園の開 設・運 営	体験 民宿 (グリーン・ ツーリズム)	景観作 物の作 付け	魚類・ 昆虫類 の保護	鳥類の 餌場の 確保	粗放的 畜産	堆きゅ う肥の 施肥	拮抗作 物の利 用	合鴨・ 鯉の利 用	輪作の 徹底		緑肥作 物の作 付け
5,946	3,301	159	19	46	50	2,864	104	34	82	1,098	26	50	41	301	227

※「その他の活動」には、都市農村交流イベントの実施、学童等の農業体験の受入等がある。

(図) 多面的機能を増進する活動



③ 農業生産活動等の体制整備（体制整備単価の集落協定のみ）

ア 農用地等保全マップの内容

農用地等保全マップの内容をみると、「農地法面、水路・農道等補修・改良」を記載した協定が3,642協定（80%）と最も多くなっている。

農用地等保全マップの内容

	体制整備単価集落協定数	記 載 内 容					
		農地法面、水路・農道等補修・改良	既耕作放棄地復旧又は林地化	農作業共同化又は受委託等	自己施工の箇所、整備内容、受益農地	農地の保全活動を行う担い手、活動内容、活動農用地	その他将来に向けた適正な農地利用保全
協定数 (割合)	4,564 (100%)	3,642 (80%)	20 (0.4%)	525 (12%)	182 (4%)	64 (1%)	1,112 (24%)

イ 地域の実情に即した農業生産活動等の継続に向けた活動

農業生産活動等の継続に向けた活動の内容をみると、C要件に取り組む協定が4,339協定と最も多く、体制整備単価に取り組む集落協定の95%を占めている。

また、A要件に取り組む協定の中で、最も多く選択されている活動項目は「機械・農作業の共同化（453協定）」であり、次いで「協定農用地の拡大（247協定）」、「担い手への農作業の委託（223協定）」となっている。B要件では「担い手集積化（50協定）」が最も多くなっている。

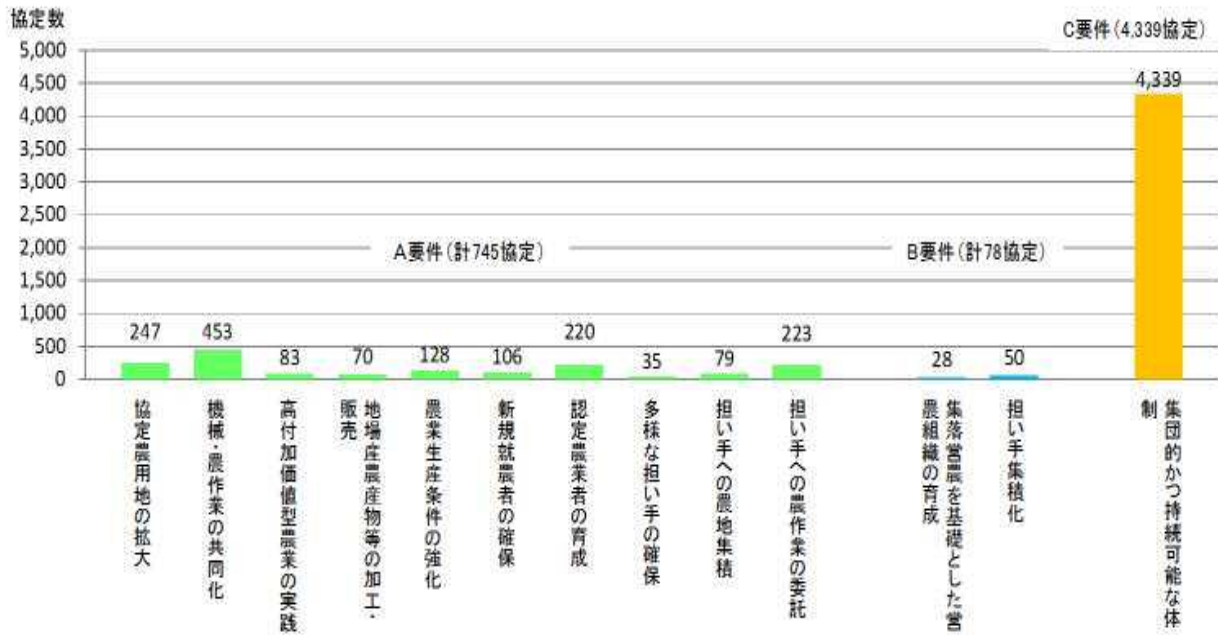
農業生産活動等の継続に向けた活動の内容（A～C要件のうち1つ以上を選択）

体制整備単価集落協定数	A要件（2つ以上を選択）							
	A要件選択協定数	協定農用地の拡大	機械・農作業の共同化	高付加価値型農業の実践	地場産農産物等の加工・販売	農業生産条件の強化	新規就農者の確保	認定農業者の育成
4,564 (100%)	745 (16%)	247	453	83	70	128	106	220

			B要件（いずれかを選択）			C要件
多様な担い手の確保	担い手への農地集積	担い手への農作業の委託	B要件選択協定数	集落を基礎とした営農組織の育成	担い手集積化	集团的かつ持続可能な体制整備
35	79	223	78 (2%)	28	50	4,339 (95%)

(図) 農業生産活動の継続に向けた活動の内容

※ 体制整備単価の交付を受けるためには、A～Cの各要件からいずれかの項目を選択（A要件については2項目以上）して目標を設定し、当該要件を達成する必要がある。



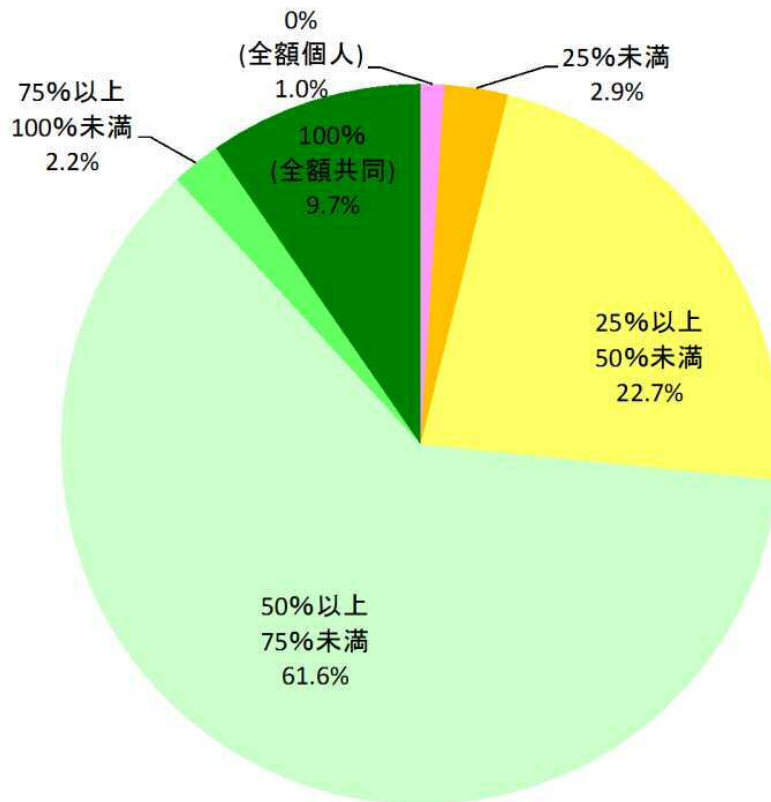
6 共同取組活動への交付金の配分割合

共同取組活動への交付金の配分割合をみると、「50%以上75%未満」の集落協定が3,660協定と全体の約62%を占めている。また、全額共同活動経費とした集落協定協定も約10%（574協定）あり、交付金の配分について多くの集落協定が共同取組活動に重点を置いている。

共同取組活動への配分割合（集落協定数）

集落協定数	0% (全額個人)	25%未満	25%以上 50%未満	50%以上 75%未満	75%以上 100%未満	100% (全額共同)
5,946 (100%)	62 (1.0%)	170 (2.9%)	1,349 (22.7%)	3,660 (61.6%)	131 (2.2%)	574 (9.7%)

(図) 共同取組活動への配分割合



7 共同取組活動の交付金の使途

共同取組活動の交付金の使途をみると、「農道・水路管理費」への使用が最も多く、共同取組活動費の約29%を占めている。また、「共同利用機械購入等費」が約10%、次年度以降の機械購入や施設整備費等を含む「積立・繰越」が約17%となっている。

共同取組活動の交付金の使途

	集落 協定 総数	役員 報酬	研修会 等費	農道・ 水路管 理	農地管 理費	鳥獣害 防止対 策費	共同利 用機械 購入等 費	共同利 用施設 整備等 費	多面的 機能増 進活動 費	土地利 用調整 関係費	法人設 立関係 費	その他	積立・ 繰越
協定数 (割合)	5,946 (100%)	5,331 (90%)	1,928 (32%)	5,135 (86%)	2,163 (36%)	1,921 (32%)	1,423 (24%)	512 (9%)	2,177 (37%)	33 (0.6%)	11 (0.2%)	4,289 (72%)	2,627 (44%)
支出割合	100%	7.5%	2.6%	29.0%	9.1%	7.4%	10.0%	3.2%	4.3%	0.07%	0.06%	9.4%	17.4%

※「支出割合」は、交付金交付額のうち、共同取組活動分に占める使途別割合である。

(図) 共同取組活動の交付金の使途 (支出割合)

